

Vol.36

〈発行日〉

令和7年3月25日

松下ゆきよし



県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉

連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135

TEL (089) 969-3605



桜の季節

多機能型事業所ひかり（砥部町重光）の北に、砥部町民ならだれでもご存じの桜のきれいな赤坂泉があります。この桜は、少し濃い桃色の陽光という桜のあとにソメイヨシノが咲きます。しかし、気候によつてはこの2つの桜が同時に咲く年もあり、その時はひかりの2階からちよつと贅沢なお花見が満喫できます。

仕事場から花を眺めながら、涼さんは絵筆を走らせました。

春の青い空と桃色や白い花びらが春のワクワクした幸せな時間を表しています。花が咲くころ涼さんの仕事場に花見にいらつしゃいませんか？どなたでも歓迎いたします。

（ひかり支援員 大越）

▲題名… 赤坂泉（水彩画）

作者… 大石 涼

愛媛県議会定例会(2025年2月)の概要

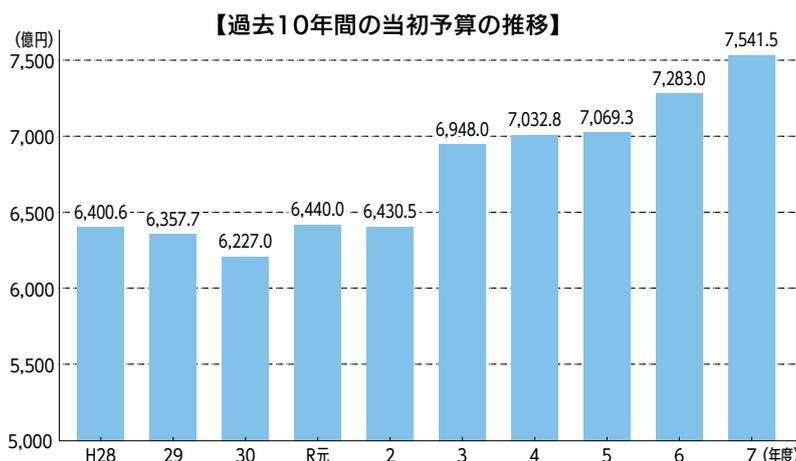
2月定例会県議会が、3月19日に閉会しました。2月28日から始まった質問戦には、代表質問と一般質問に5会派と無会派の計16人が登壇。若者の県内就職促進など人口減少対策、地域経済の活性化、公共交通維持のための施策などを取り上げて論戦が交わされました。可決議案は予算28、条例27、人事2、その他19です。なお、日米地位協定の改定を求める意見書の提出を求めるなどの請願2件を不採択としています。

また、議会最終日には正・副議長を決める選挙が行われました。常任委員会も新しい体制となりました。

1 当初予算

令和7年度当初予算は、一般会計が7,541億5,000万円(対前年度258億5,000万円増)で、中村県政最大となった昨年度をさらに上回る積極的な予算です。

施策の柱である人口減少対策や、DX推進には対前年度18億円増の136億円の予算を組んでいます。地域経済の活性化では、経済交流ミッショ



ン(インド・インドネシア・ベトナム)を通じた海外販路開拓や、先端成長産業の誘致に向けた産業用地の整備などに取り組みます。防災・減災対策は、県庁新第二別館への防災オペレーションルーム整備費用を計上。また、12月補正予算と合わせた16か月予算として編成しています。

【表1】令和7年度 県当初予算の会計別規模

(単位:百万円、▲は減)

会計別	予算額	前年度当初比
一般会計	754,150	25,850
災害救助基金	1	▲1
国民健康保険事業	127,552	▲7,125
母子父子寡婦福祉資金	697	182
中小企業振興資金	16	11
農業改良資金	7	0
国営農業水利事業負担金	429	99
県有林経営事業	275	57
林業改善資金	130	▲100
沿岸漁業改善資金	51	増減なし
公共用地整備事業	2,135	▲283
港湾施設整備事業	15	増減なし
用品調達	306	増減なし
自動車集中管理	16	1
公債管理	113,199	750
奨学資金	132	0
計	244,961	▲6,408
電気事業	3,832	665
工業用水道事業	1,367	▲157
病院事業	68,644	3,925
計	73,843	4,434
合計	1,072,954	23,876

※端数四捨五入のため合計が合わない場合があります。

特別会計は2,449億6,140万円(対前年度▲64億799万円)、企業会計は738億4,302万円(対前年度+44億3,351万円)で、県全体の予算規模は、1兆729億5,442万円になっています。主な事項は、次のとおりです。

(1) 人口減少対策《R6:40億円 ↓ R7:50億円(+10億円)》

▼えひめ人口減少対策総合交付金

21億1,035万円

メニュー選択型交付金を拡充し、地域の実情に応じた出会い・結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援等の取組み

▼保育士確保加速化事業

4,828万円

を総合的に後押。潜在保育士の復職支援や県外学生の就業促進のほか、未来の担い手確保策等を実施。

▼関西圏若手社会人Uターン促進事業

1,037万円

関西圏で働く本県出身の若者をターゲットに、「ひめボス宣言事業所」をはじめとする県内企業の魅力を発信。

▼ひめボス宣言事業所魅力化支援事業

1億5,404万円

女性活躍や仕事と家庭の両立支援

に取り組み事業所を「ひめボス宣言事業所」として認証し、奨励金の支給等を通じて企業の意識改革を促進。

▼(2)DX:官民共創の推進《R6:78億円→R7:86億円(+8億円)》

▼えひめ医療DX推進事業

2,198万円

医療機関同士の連携強化や業務改革の実現に向けて、協働体制を構築するとともに、デジタル活用不可欠な医療情報人材を育成。

▼トライアングルエヒメ2.0

10億6,904万円

デジタル関連企業と行政が連携し、地域課題解決に向けたデジタル技術の

現場実装を推進。

▼官民共創拠点整備推進事業

4億9,773万円

新築している第二別館の1〜2階を官民共創スペースとして整備。

1階:受付兼カフェ。100〜200

人規模のイベントスペースに大型モニターを設置

2階:ミーティングルーム等

▼(3)防災・減災対策《R6:127億円→R7:142億円(+15億円)》

▼県単独緊急防災・減災対策事業

43億1,000万円

道路の改良や緊急輸送道路の整備、堤防補強等の河川整備など。

▼木造住宅耐震化促進

1億8,852万円

前年度よりさらに増額。改修・設計420戸、診断830件を見込んでいる。

▼地震被害想定調査 5,161万円

国は南海トラフ巨大地震の被害想定を見直している。それを踏まえて、県地震被害想定を見直している。事業期間6〜7年度。県と市町が新たな地震対策を立案する際、共通の基礎資料とする。

▼新防災オペレーシヨナルームの整備

3,095万円

新第二別館3階に情報収集・共有機能を拡充した防災オペレーシヨナルームを整備。

▼(4)地域経済の活性化

▼海外販路開拓

・インド(タミルナドゥ州政府等と連携
経済交流) 4,049万円

・インドネシア(ゴロンタロ州の農水産業の課題解決に向けたビジネスマッチング) 2,032万円

・ベトナム(ベンチエ省等との経済交流) 1,038万円

▼東予港西条地区産業用地整備事業

29億1,277万円

東予港西条地区に約30畝の大規模産業用地を整備する。今回の予算は、地盤改良や5千ト級の船の着岸が可



東予港西条地区廃棄物処理・活用地

能な岸壁整備の予備設計など。今後の予定として、限度額42億5,629万円の債務負担行為

を設定し、令和8年度末までの完了を目指す。

▼かんきつ流通施設強化支援

22億6,115万円

集出荷施設を再編統合しAI選果機を導入。7年度全体事業費39億2,230万円。予算計上額は国1/2補助に県1/10を加えた補助金。事業実施主体はJA西宇和。

▼紅プリンス等ブランド力強化事業

1,300万円

紅まどんな、紅かんべいに、紅プリンスを加えた紅コレクションの認知度向上に向け情報発信。

▼えひめ伝統工芸活性化支援事業

1,637万円(R6同額)

砥部焼の価値を高めるモデル窯元を支援。また、産地の底上げに向けた体制整備に取り組む。6年度からの継続事業。

議会最終日には三宅議長、松尾副議長の辞任に伴う正・副議長選挙があり、新議長に福羅浩一議員(自由民主党、今治市・越智郡選挙区、当選5回)、副議長に大西誠議員(自由民主党、伊予市選挙区、当選4回)が選ばれました。

また、常任委員会と議会運営委員会の編成変更も行われました。私は建設常任委員会の委員長と、議会運営委員会の副委員長に就きました。なお、監査委員は慣例の2年任期を務めて無事退任しました。



議事堂議長室で、福羅新議長(左)と

(5) その他

▼全国植樹祭開催準備費

2億6,813万円

令和8年春の開催(式典と植樹会場は県総合運動公園)に向け、準備を進める。7年6月22日(日)国立大洲青少年交流の家で記念イベントを実施。

▼県庁第二別館建替え

55億3,539万円

地上11階・地下1階、延べ面積14,255㎡。1～2階は官民共創拠点、3階防災オペレーシヨナルーム。令和8年3月完成予定。総事業費は約112億円(仮設移転、什器調達経費含む)



建設中の第二別館 (撮影：3月上旬)

▼(農地)担い手育成基盤整備事業

15億983万円

樹園地や水田の区画拡大、緩傾斜化、道水路を一体的に整備し、担い手への農地集積を図る。下難波(松山市)



北川毛の農地基盤整備全景 (撮影：令和6年1月)

※この中には砥部町北川毛の農地中間管理機構関連農地整備事業も含まれる。

▼自転車国際会議「Velo-city」(注1)開催準備

7,654万円

令和9年の愛媛開催が決定(日本初)。開催準備費として、ポーランドで開催される自転車国際会議への出展、欧州調整窓口の設置、欧州サイクリスト連盟(ECF)への分担金などを計上。(注1) Velo-city(ベロシティ)・・・欧州サイクリスト連盟主催の世界最大級の自転車国際会議。自転車政策決定者など(1千)1千5百人規模が集い、観光、安全利用、都市計画など様々な議題を議論するほか、自転車パレード等を実施。

▼とべもり+(プラス)関連予算

①とべもり+(プラス)エリア交流拡大

【表2】令和7年度 とべもり+(プラス)関連事業

とべもり+(プラス)：えひめこどもの城、とべ動物園、県総合運動公園に「えひめ森林公園」を加えたエリア

とべもり+(プラス)ゼロカーボン夢プロジェクト推進事業 PPA方式(注2)による太陽光発電設備の導入など、化石燃料に代わる発電設備の整備を推進。	1億7,253万円
とべもり+(プラス)エリア交流拡大推進事業 スマホアプリとべもり+の運用や、4施設連携イベントの実施。「とべもり+イルミネーションパス」を運行。	2,412万円
(注2) PPA方式：県の敷地や施設に、事業者が無償で太陽光発電設備を設置のうえ維持管理し、県は太陽光発電される電力を使用しその使用料を支払うもので、CO ₂ 排出量削減に寄与するとともに、安価な電力を使用することで節約にも繋がる。	
えひめこどもの城	
愛顔創出事業 園内移動手段として自動電動カート(15台)を新設 くわがたのステージの屋根設置。暑さ対策にミスト扇風機(10台)配備	2億9,985万円
愛顔波及事業 AR(拡張現実)を活用したイベントや、とべもり+(プラス)を周遊する体感型謎解きイベント、 外国文化体験イベントの開催及び戦略的な広報により集客を促進	4,614万円
子ども芸術祭の開催【開催時期：10月18日(土)～11月3日(月)】	2,333万円
とべ動物園	
とべ動物園施設整備 間伐材を利用して木製ベンチやテーブルを整備。	400万円
既存インドソウ舎をオランウータン舎に改修する詳細設計や、その他獣舎の部分的改修を実施。	8,000万円
とべ動物園展示動物等購入費 動物(オランウータン、アルパカなど)の購入や、動物の健康管理強化等に必要な医療器具の整備	8,652万円
とべ動物園魅力向上戦略推進事業 《とべZOOイルミネーション》など定番イベント開催や、Webによる情報発信	2,360万円
県総合運動公園 テニスコート照明更新、自動ドア装置更新等	
えひめ森林公園	
とべもり+(プラス)ジャンピングイベントや森林公園体験イベントの開催	1,179万円

推進事業

2,412万円

スマホアプリとペもり+ナビの運用。とべもり+イルミネーションを冬季に実施。「とべもり+イルミネーションバス」を8日間運行。

②展示動物の購入
8,652万円

メスのボルネオオ

ランウータンなどを購入予定。現在とべ動物園にはオスのランウータンがおり、何年か先には赤ちゃんの誕生が期待される。

③とべ動物園施設整備 8,000万円

インドゾウ舎をランウータン舎に改修するための詳細設計。一部の獣舎を生息環境を可能な限り再現した、行動展示ができるように改修。

④こどもの城愛顔創出事業

2億9,985万円

自動電動カート15台新設。くわがたのステージ屋根設置。暑さ対策用ミスト扇風機10台配備。

⑤「アートベンチャーエヒメフェス2025」

の開催 1億2,940万円

東京芸大との連携によりアートの力を活用したプロジェクトを实践。成果をとべもり+を中心に展示。



とべ動物園のボルネオランウータン「ハヤト」
(写真提供：とべ動物園)

会期：7年10月18日から11月3日
会場：とべもり+（プラス）、砥部町、今治市、内子町小田

2 補正予算

2月補正予算は、一般会計では物価高騰対策や企業立地促進基金の増設などに417億円余り追加補正する一方、国の内示減などに伴い267億7,114万円を減額し、差し引き149億6,705万円を増額。特別会計は8億3,600万円の増額補正。また、企業会計は、電気事業会計が病院事業会計への貸付金15億円を計上しています。

(1) 一般会計(増額分)

共同利用施設再編集約合理化推進

【表3】 令和6年度 2月補正予算の概要(一般会計)

(端数四捨五入 ▲は減)

一般会計の計	149億 6,705 万円
増額分	417億 3,819 万円
医療・福祉施設の物価高騰対策応援金	14億 8,146 万円
中小企業賃上げ応援事業	3,113 万円
県産品インバウンド需要拡大事業	5,690 万円
清酒用原料米高騰対策支援事業	3,776 万円
自己完結型被災地支援車両等整備	9,413 万円
共同利用施設再編集約合理化推進(久万高原町(JA松山市))	8億 8,590 万円
直轄事業負担金(道路・ダム等)	11億 1,243 万円
企業立地促進基金の創設	50億 円
県立学校教育環境整備基金など老朽化対策、防災対策に係る6基金への積み増し	70億 円 など
減額分 《国内示の減、公債費利子の減等による不用額》	▲267億 7,114 万円

【表4】 令和6年度 2月補正予算(特別会計・企業会計)

(端数四捨五入 ▲は減)

特別会計	8億 360 万円
(1) 増額分	21億 4,687 万円
国民健康保険事業	18億 8,447 万円
中小企業振興基金	1,132 万円
県有林経営事業	2億 5,108 万円
(2) 減額分	▲13億 4,327 万円
国営農業水利事業負担金	▲1億 6,351 万円
公債管理特会	▲11億 7,976 万円
企業会計	15億 円

久万高原町菅生のJA松山市久万野菜選果場施設更新経費の一部を補助し、広域選果・流通体制の構築

8億8,590万円

を後押し。7年度は、建物、冷蔵設備と、選果機を整備。事業費14億7,650万円の6割、8億8,590万円(国費55割、県5割)を補助。

▼企業立地促進基金の創設 50億円

先端技術を活用した成長性の高い産業を誘致するため創設。県は先端成長産業投資奨励金制度を創設して、半導体、先端素材、蓄電池など先端成長産業の誘致に取り組んでいる。奨励金の限度額は30億円(経済効果が高いと判断される場合は50億円)。

▼施設老朽化、防災対策などを目的とする以下の6基金への積立金 70億円

県立学校教育環境整備基金、農林水産業体質強化緊急対策基金、県有施設更新整備基金、災害に強い愛媛づくり基金、スポーツ推進基金、とべ動物園魅力向上基金

(2) 特別会計(増額分)

▼国民健康保険事業 18億8,447万円

国民健康保険事業に係る決算剰余金の積立てなど。

▼中小企業振興資金 1,132万円

中小企業グループ施設復旧支援貸金等の償還金

▼県有林経営事業 2億5,108万円

一般会計からの貸付金の返済や基金への積み立て。

(3) 企業会計

▼電気事業会計 15億円

病院事業への貸付金

3 条例

主なものは次のとおりです。

▼県税賦課徴収条例の改正

広域災害等発生時における納期限等の、職権による延長措置の対象となる広域災害等の範囲を、県内のみから他道府県の区域に拡大。

▼県障害者雇用促進のための県税の特別措置に関する条例の改正

障害者の雇用促進を図るための県税の特別措置について、適用期限を延長。法人…令和7年3月31日までに開始する事業年度

↓10年3月31日までの間に開始する事業年度(3年延長)

個人…令和7年12月31日まで

↓10年12月31日まで(3年延長)

▼県公衆衛生獣医師確保修学資金等貸与条例(新規)

獣医学を履修する課程に在学する大学生のうち、将来県の機関に獣医師として勤務しようとする者に修学資金等を貸与。

▼愛媛県企業立地促進基金条例(新規)

先端技術を活用した成長性の高い産業や地域の特性を踏まえた産業に関する企業の立地を促進する基金を創設。基金創設額50億円。

▼県事務処理の特例に関する条例を改正し、開発の許可等に係る事務について松前町へ権限移譲。

▼愛媛県学校職員定数条例の改正

高等学校	2,575人	→	2,564人	(△11人)
市町立中学校	2,961人	→	2,970人	(9人)
中等教育学校	196人	→	188人	(△ 8人)
市町立小学校	5,027人	→	4,991人	(△36人)
特別支援学校	1,075人	→	1,080人	(5人)
計	11,834人	→	11,793人	(△41人)

認会計士)

▼財産の処分(1件)

処分物件…東予港西条地区埋立地
内の雑種地の一部

処分面積…140,367.10㎡

処分価格…12億2,259万7,441円

処分の相手方…今治造船株式会社

▼県立病院の診療費未払金(9人…191万円)など回収不能となった債権の放棄

▼土地改良事業や土木建設事業等の負担額の変更

▼松山城北特別支援学校(仮称)食堂棟新築工事の請負契約

請負金額…5億2,800万円(税込み)

落札率 98.6%

請負人…大和・松山共同企業体

工期…7年3月20日～8年2月27日

工事概要…鉄筋コンクリート造部鉄骨造、地上2階建、延1,368㎡

このほか工事請負契約締結(1件)と、工事変更契約4件

▼専決処分の承認について(令和6年度愛媛県一般会計補正予算(第6号))

愛媛県一般会計補正予算(第6号)高病原性鳥インフルエンザ対策として9億2,697万円を専決処分。

▼自動車事故の賠償額の決定について報告(2件)

▼包括外部監査契約金額の締結

1,160万1,000円で近藤社(公

5 その他

▼議員選出監査委員の交代

新委員長帽子大輔(松山市・上浮穴郡選挙区・3期)議員を選任しました。

▼愛媛海区漁業調整委員の任命

▼議員選出監査委員の交代

新委員長帽子大輔(松山市・上浮穴郡選挙区・3期)議員を選任しました。

4 人事

▼終戦から80年になります。日本は、甚大な犠牲の上に今日の平和で自由な社会を築きました。

敗戦によって伝統や道徳が云々といったことも言われますが、今も世界で絶えない戦争や紛争を目の当たりにするとき、私たちの先輩が築いてきた日本の素晴らしさが分かります▼敗戦の二つの象徴が、戦艦大和の最後ではないでしょうか。不沈艦と言われた大和でしたが、鹿児島県坊ノ岬沖の海戦でアメリカ軍の猛攻撃をうけ沈没しました。その大和には、愛媛県出身の茂木史朗中佐(後に大佐)が、航海長として乗船。大和と運命を共にしています▼大和の最後については、元乗組員の手記や第三者によるノンフィクション、小説など多くの



茂木史朗
中佐(戦死後、大佐)
愛媛県出身/海軍兵学校53期卒
明治38(1905)年~昭和20(1945)年

走雨読」を読んだ汀子さんがお手紙をくださいました。手紙には、「兄妹の事、父茂木史朗の思い出、そして吉田満氏を始めとする大和関係者のことなどが綴られています。こんな一

記録・記述が残されています。私はこの県政レポート(平成29年7月号)の「晴走雨読」で、大和の搭乗員だった吉田満氏(昭和54年没)が自身の実体験を書き表した『戦艦大和ノ最後』を紹介しました。文語体で書かれたこの記録小説は、戦記文学の白眉と言われています▼茂木大佐は、温泉郡桑原村(現松山市桑原)の生まれ。松山中学校4年終了後、海軍兵学校に進み、昭和16年から巡洋艦「神通」、「鳥海」、昭和18年からは戦艦「榛名」の航海長と航海畑一筋に歩んできた方です。奥様のお父様が、故相田梅太良氏(砥部町名誉町民)だったことから、残されたご家族は、戦後原町村で生活しています。長女の汀子さんは、ご健在で砥部町におられます▼平成29年、『戦艦大和ノ最後』の「晴

文がありました。「私が小三で呉市に居ました。戦死のことなど想いもつかず、『いつてらっしゃい、いつてらっしゃい』。父は何度も振り返り振り返り、行きました。これが父との最後です」。汀子さんにとって時がたてばたつほど、鮮明に思い出される父親の姿です▼時間の経過とともに、否応なく戦争体験が遠ざかり、戦争が歴史上の出来事になりつつあります。二度と戦争を繰り返さないためにも、記憶や記録の継承が不可欠です。戦禍にあつて犠牲になられた方々はもちろんです



松山市桑原の桑原寺に建つ茂木大佐の碑

が、あの戦争に真正面から向かい合った職業軍人の姿も語り継いでいかなければなりません。

航海長、掌航海長、互イニ身三箇所ヲ固縛シタルママ、再三ノ脱出ノ勸メヲモ固辞、肩ニカカル戦友ノ手ヲ振払ウトモニカツト目玉ヲ見開キ、迫リクル海面ヲ睨ミ据エタル姿マデ見届ク茂木中佐、花田中尉御最期ナリ操艦ノ責メノ、ソレ程マデニ重キカ

『戦艦大和ノ最後』より

全著作 森繁久彌 コレクション1 自伝

解説：鹿島 茂 出版：藤原書店

森繁久彌（もりしげ ひさや）。映画、テレビ、舞台、そしてラジオでも活躍した名優です。平成21（2009）年に亡くなりましたが、死後国民栄誉賞が追贈されています。文筆家でもあり、自伝やエッセイなど数多くの著作を遺しました。平成元（2019）年に発刊されたこの『森繁久彌 コレクション』は、散逸していた彼の著作を集めた全集で、「自伝」「芸談」など全5巻に再編集されています。ここに紹介する第1巻「道―自伝」には、50歳の時に出版した「森繁自伝」や「私の履歴書―さすらいの唄」のほか自伝関連のエッセイをまとめています。

父親は関西実業界の大立者でしたが、2歳の時に亡くなっています。旧制中学に入学してから、一気に不良化。芸者遊びを覚え、神楽坂、渋谷、池袋などで遊んでいます。根っからの道楽者と言うことでしょうか。生涯連れ添った萬壽子夫人とは学生結婚。学業半ばで東宝新劇団に飛び込みます。劇団員になつても生活費を稼ぐこともせず、株に手をだして父親の遺産を使い尽くし、困窮生活をおくる羽目になります。やがてNHKのアナウンサーとなり、満州の新京中央放送局へ。それが昭和14（1939）年、26歳の時です。満州



で敗戦を迎え、混乱と悲惨を体験します。33歳で帰国し役者を目指します。徐々に認められはじめ、昭和23（1948）年には、菊田一夫の紹介で舞台「鐘の鳴る丘」に出演。井上正夫（注3）と共演し、役者の器量を学びます。森繁は自身の芸風、二枚目でも三枚目でもまして敵役でもない、かといって決して善良ではない人物を、戦後間もなく流行ったパチンコのリズムをヒントに創り出したと述懐しています。しかし、そのスタイルは若い時の放蕩や、大陸から引き揚げて来る時の悲惨な記憶など彼の身体に染み付いた、地ではないかと思えます。

映画「社長」シリーズのちよつとほけた社長。舞台「屋根の上のヴァイオリン弾き」の主人公テヴィエ。テレビドラマ「だいのんの花」の頑固な父親。加藤道子と二人だけの語りで、複数の登場人物を演じたNHKラジオ第1の日曜名作座。皆さんの森繁久彌は、何処にいますか。（文中敬称略）

（注3）井上正夫（いのうえ まさお）…本名小坂勇。舞台、映画で活躍した俳優、映画監督。明治14（1881）年、砥部町大南（中通）に生まれ、13歳までを過ごす。昭和24（1949）年に芸術院会員。昭和25年没。



愛媛県議会議員

松下 行吉 まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135
TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606
Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<https://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>



このレポートは環境に配慮したFSC®森林認証紙を使用しています